

反射材・高齢者交通事故防止啓発チラシを9千枚寄贈

～秋の交通安全県民総ぐるみ運動・広報活動等で県民への配布により交通事故を抑止～

日本損害保険協会関東支部栃木損保会（会長：小野 智康・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 理事 栃木支店長）では、当支部管内の1都9県中、栃木県は、昨年の高齢者人口10万人当たり交通事故高齢者死者数の最も多いことに鑑み（栃木県：6.16人、全国平均：4.06人）、栃木県警に反射材と高齢者交通事故防止啓発チラシ（A4判・両面カラー）9,000枚を寄贈することとし、9月26日（火）午後1時30分から栃木県警察本部2階記者会見室において、贈呈式を開催いたしました。

同チラシは、A4判両面カラーで、高齢ドライバーの出会い頭事故の防止策として、「徐行」や「安全確認」、高齢歩行者の夕暮れや夜間には「安全確認」と反射材の着用を呼びかけています。

贈呈式では、栃木損保会小野会長から、栃木県警佐藤交通部長に目録が手渡され、次に、同交通部長から損保協会関東支部に感謝状が贈呈され、引き続き、栃木県警マスコットキャラクター「ルリちゃん」と写真撮影が行われました。

贈呈された反射材付きチラシは、現在実施中の秋の交通安全県民総ぐるみ運動や今後の広報活動等で県民の方々に配布したり、県内の19の警察署での街頭啓発活動などに活用される予定です。

栃木損保会では、引き続き、県、県警や関係団体と協力関係を深めながら、高齢者をはじめとした交通事故防止の啓発に取り組んでまいります。



目録贈呈

(左：小野損保会長、右：佐藤交通部長、以下同じ)



感謝状の贈呈



写真撮影